

# GIS部会 活動報告

GIS部会長 小田 博之

## 1. 活動概要

### 〈部会活動テーマ〉

位置・空間情報を用いているソフトウェア、ハードウェア、データ、処理アルゴリズム等、これらに関わる機能やサービス、周辺技術等の調査、整理を行い、空間情報の利活用に関わる新たな創造を育む活動を行うこととしている。

### 〈所属者〉

GIS ベンダー、地図調製、測量・調査業等  
51社 57名

### 〈活動概要〉

GIS 及び関連周辺技術に関わる情報収集・交換、交流、調査、研修等を実施している。

### 〈具体的な活動内容〉

主に以下の2点を実施している。

- (1) 自主研究テーマ検討：部会員で研究テーマを設定し、調査・検討を行い1、2年間で成果を出すもの。
- (2) 技術講演：関連する技術等に関わる講演の開催。

### 〈2015 年度活動結果〉

- ・部会：7回 開催
- ・幹事会：5回 開催
- ・自主研究テーマ：『位置情報・GIS 技術を用いた近未来サービス』

中間検討成果（2015 年度分）を技術発表会

表1 2015年度におけるGIS部会の実施状況

活動区分・回		開催日	開催場所	出席者	実施事項
部会	1	2015年6月12日	測技協会議室	16名	1. 会員自己紹介 2. 事務局報告 3. 技術紹介講演① 4. 2015 年度活動方針
幹事会	1	2015年6月24日	測技協会議室		・技術発表会の準備・調整
部会	2	2015年7月9日	NPO102	14名	1. 事務局報告 2. 技術発表会報告等 3. 自主研究テーマ討論
幹事会	2	2015年8月26日	NPO102		・次回部会内容検討
部会	3	2015年9月16日 9月17日	金沢勤労プラザ	15名	1. 事務局報告 2. 技術紹介講演②
幹事会	3	2015年10月6日	測技協会議室		・自主研究テーマの進め方
部会	4	2015年11月5日	国際航業北府中	12名	1. 技術紹介講演 2. 自主研究テーマ討論 3. 技術紹介講演③
幹事会	4	2015年12月9日	NPO401		・自主研究テーマまとめ①
部会	5	2015年12月17日	NPO501	12名	1. 事務局報告 2. 自主研究テーマ討論
部会	6	2016年1月20日	NPO101	11名	1. 事務局報告 2. 自主研究テーマ討論
幹事会	5	2016年4月25日	NPO101		・自主研究テーマまとめ②
部会	7	2016年5月20日	測技協会議室	13名	1. 自主研究テーマまとめ 2. 技術発表会 発表協議
ワーキング		2016年6月7日	NPO102	11名	・技術発表会 発表準備 ・2015 年度 まとめ協議

※出席者には、事務局出席者人数を含まない。

表2 GIS関連技術紹介講演

開催日	講演者	講演内容
2015年6月12日	(公財)日本測量調査技術協会 藤本 直也 氏	GISソフトウェアに関する調査 (結果報告)
2015年9月16日	国土地理院 地理地殻活動研究センター 地理情報解析研究室 中埜 貴元 氏	最近の地理情報解析研究について
2015年11月5日	国際航業株式会社 太田 守重 氏	地理空間情報技術の海外動向と、 教育支援システムの紹介

(2016年7月1日)で説明。

## 2. GIS 関連技術紹介講演

2015年度は、表2のように3回開催した。年度後半は、自主研究テーマの検討、とりまとめに時間を割き、開催を見送った。

## 3. 自主研究テーマ

2015年度は、2014年度までに検討したテーマを一新し、近年の急速に進展するハードウェア、ソフトウェア、データコンテンツを傍目に見つつ、近い将来、GISや位置・空間情報を用いた技術が、『社会のなかで、こんな形で活かせるのではないか?』という視点に立ち、新たなサービス・仕組みの創造について検討を行った。

年度当初の部会では、将来提供されるサービスや仕組みについてアイデアの創出を行い、幾つかの候補群から2つのサービスに絞り込んで具体的な検討を行った。研究期間は2カ年とし、1年目にサービスや仕組みの全体像、2年目に具体的な技術、インターフェースなどとした。様々な検討の結果、出された候補群の中から、2つのサービスに絞り、グループを2つ設け、各グループにて検討を進めることとした。

検討したテーマ(サービス)は次のようなものである。

### ■グループA:

商店街の活性化を支援するサービス

### ■グループB:

献立サービスを起点に、「食」を巡る総合サービス

2015年度の検討結果については、2016年7月に開催された技術発表会で概要を発表し、その際に配布された要旨集に添付したものであるが、2つのグループによる検討サービス結果(各グループまとめ)を次の頁に掲載した。

## 4. 2016年度からの自主研究テーマ

成果の公表により、何らかの形で社会に役立つ成果作成を目指し、2015年度までの研究テーマの継続を中止して、2016年度からは新たなテーマを設定することとなった。これまで開催した2016年度第3回部会までで、10数件のアイデアが出され、これらから絞り込んでテーマ設定し、具体的な検討、成果作成を進めていく。

## 5. 2016年度の活動予定

「自主研究テーマ」については、現在検討中であり、テーマを早期に確定して、具体的な研究活動を行う予定である。これに関連して「GIS関連技術紹介講演」をはじめ、活発な情報交換を行っていきたいと考えている。また、昨年度は「地方部会の開催」が、金沢のみ1回となってしまったが、本年度は活発に実施していく予定であり、地方の会員の皆様、関係者の方々にも参加いただける機会を増加させ、情報交流を増大したいと考えている。第2回部会(7月)は川越市にある東日本総合計画株式会社様で行い、第3回部会(9月)は浜松市にある株式会社フジヤマ様で行った。今後とも、会員、関係者皆様のご指導、ご協力をお願いしたい。

## ■グループA 商店街の活性化を支援するサービス

①リーダー 加賀谷 仁秀 (株式会社 GEO ソリューションズ)

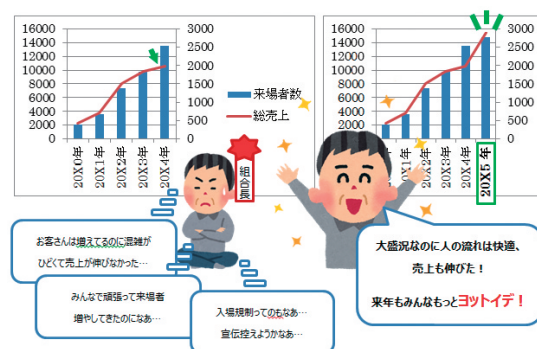
②タイトル ～ お祭り活性化サービス『ヨットイデ!』～

### ③サービス概要

活気ある商店街を目指して積極的な取り組みを行っている「そくぎ通り商店街」を舞台に、商店街を応援するサービスを検討した。『ヨットイデ!』は、商店街で開催するお祭りを来場者の立場、主催者の立場、様々な観点からエスコートしてくれる「縁の下の力持ち」的サービスである。具体的には、単純な人集めに関わるサービスだけでなく、人が集まることによる負の状況(例:混雑、行列、入場規制、迷子等)を回避、お祭りの価値の最大化を図るべくサービスを検討したものである。

### ④このサービス検討を通して

2016年度現在、主に高度な交通網の実現に向け、推進、研究が行われているダイナミックマップが、未来には、きっとより生身の人間に近いところで活かされている、と想いを馳せ『ヨットイデ!』を企画した。今後も GIS やそれに関連する技術が人を幸せにしている未来を想像し、GIS の可能性を周知できるように取り組んでいる。



## ■グループB 献立サービスを起点に、「食」を巡る総合サービス

①リーダー 山浦 篤 (株式会社フジヤマ)

②タイトル ～ GIS 利用した献立サービス『GochiSo』～

### ③サービス概要

消費者向けの献立サービスを利用することにより、食のビックデータを収集し、蓄積、分析、解析することで、生産者、流通業者、販売者、政策等で国民生活を充実させる。食を切り口に、フードマイル、食糧自給率アップ、世界的な食糧不足対策等から、食のお買い物情報、健康管理、食育に至る様々な分野にサービスを提供する。

### ④このサービス検討を通して

人工知能 (AI) の発達により、2045年には、たくさんの職業が無くなると言われている。測量分野も他人事ではない。GIS による分野の垣根を越えた新しいサービスの実現を提案し、今後も GIS に関わる技術や新しい可能性を発信し、社会貢献に寄与できるように取り組んでいる。

